

第2回 ミドルステージ研修

令和4年9月5日(月)

奈良市立高円こども園

講演 「からだコミュニケーションと身体表現遊び」

講師 帝塚山大学 教授 岡澤 哲子氏

【理論編】

1. 身体表現の3つのキーワード
「双方向性」表すってことは見てもらいたい！
「表現性」表したい！
「リズム性」リズムが楽しい！
2. 表出「表れる」（自然と出る表情）から「表す」「表したい」（自ら表したい）へ
3. 絵本の物語の世界に出たり、入ったりしながら、自らの想像を広げて楽しむ
4. 読みあった人達と一緒に様々に遊ぶ
 - 1・2歳児：自分の生活に近い絵本・言葉のリズムを楽しめる絵本
大人や友達と絵本の物語の世界でいろいろなことを共感する。
 - 3歳児：お話の中の人や物になり切ったり演じたりすることを楽しむ
お話の世界を広げていく
 - 4・5歳児：絵本の世界を別のもので再現する（絵やごっこあそび）
絵本の中で感じたことが、
子どもの「からだや心に染みわたる」
「からだで絵本の世界を表しあう」



【実技編】～好きな絵本から、生活発表会へ向けた表現遊びのヒント～

1. まずはウォーミングアップ

	〈遊び方例〉
<p>① “チクチクボンボン今何時？”</p> 	<p>人差し指を立てて、時計にみたくて歌に合わせて左右に振る。</p> <p>♪チクチクボンボン今何時？→「3時！」 (足踏み3回等)</p> <p>♪チクチクボンボン今何時？→「夜中の 12時！」(お化けになって追いかっこ)</p>
<p>② “さよならあんころもちまたきなこ”</p> 	<p>〈遊び方例〉</p> <p>♪さよならあんころもち→お手玉をハンバー グを丸めるように 左右に</p> <p>♪またきなこ→・頭にのせる</p> <ul style="list-style-type: none">・ほいっと二人で渡し合う・後向きで渡し合う等 <p>いろいろ工夫してみましょう！</p>

2, 絵本「きょうはマラカスの日」

遊び例：(マラカスを一所懸命に練習してみんなに見て欲しい主人公のお話)

マラカスをスカーフに代えて、主人公の気持ちになって踊る。

一人での表現やグループとしての表現あそびの発表をする。

例：発表会では、「きょうは〇〇の日」で発表。日頃からの遊びを取り入れていく。

※気持ちをスカーフで表現して、見てもらいたいという気持ちがスカーフ等に表れるといいですね!

3, 絵本「ちいさなきいろいかさ」

遊び例：(小さい傘に動物達が入っていくお話)

傘を持って“♪あめあめふれふれ”でスキップ。各グループは事前に何の動物になるかを決めておいて、「うさぎ!」と言うとうさぎグループが傘を持った人の後についてスキップ!

大きい虹の布の下を自由に表現しながらくぐったりして遊ぶ

4, 自分の好きな絵本から

各グループで持参した絵本から1冊を決めて、自由に歌や手遊び・劇等で表現遊びを即興で話し合い、発表した。

- ①替え歌・手遊びをつくる
- ②関連した曲に振り付ける
- ③好きな場面を取り上げて身体表現遊びにする



【参加者の声・気づき】

- ・絵本から言葉や動きを取り入れ、表現遊びに繋げていく中で、自由な発想で表現する楽しさや面白さを体験することができた。周りの先生方のいろいろな表現に触れ、同じ表現が出た喜びや、違う表現の気付きなど、見せたい、見てもらいたいという双方向性を感じることができた。
- ・「絵本にリズムをつけてみよう」という発想が無かったが、今回の研修で、普段何気なく手に取っている絵本や言葉がリズムをつけることでこんなにも印象的になると学んだ。
- ・ピアノや音楽のリズムに合わせることだけが表現なのではなく、『表したい』という気持ちを引き出すことが大切であることを学んだ。
- ・子どもの発達段階を踏まえた絵本選びの方法やリズムを楽しめる絵本の紹介をグループで共有でき、クラスの子も達と読んでみたい絵本が増えた。
- ・受け身で受けていた研修とは違って、実際に考え動き、体験していく事で、改めて感じることや気づきがあった。

作成者 幼児教育アドバイザー 木村 志奈